

都市型・繁華街型の地域特性

多様な環境

防災無線が聞こえない

ビル、マンションの室内

地下街

高気密な住宅

繁華街の騒音、反響

防災無線を補完し、多様な手段を活用できるシステムが必要！

多様な対象者

地理不案内、情報入手困難

膨大な滞留者

(池袋駅一日乗降客数約250万人)
(池袋駅周辺滞留者数約15万人)

高齢者、障害者など情報入手困難者

異動の激しさ (転出入とも年間約2万人)

●防災情報伝達制御システム

都市型・繁華街型の課題への対応

①あらゆる場所の、あらゆる人に確実に情報を伝える

②最小の人数・作業で最大の人数に情報を伝える

耐災害性の確保

③共倒れ・全滅しないシステム

経済性・効率性

④既存の伝達手段の活用

コア

防災情報伝達制御システム

一括制御

緊急速報メール(エリアメール)

安全・安心メール

防災無線(屋外、戸別)

区ホームページ

民間事業所(放送設備)

CATV(テロップ等)

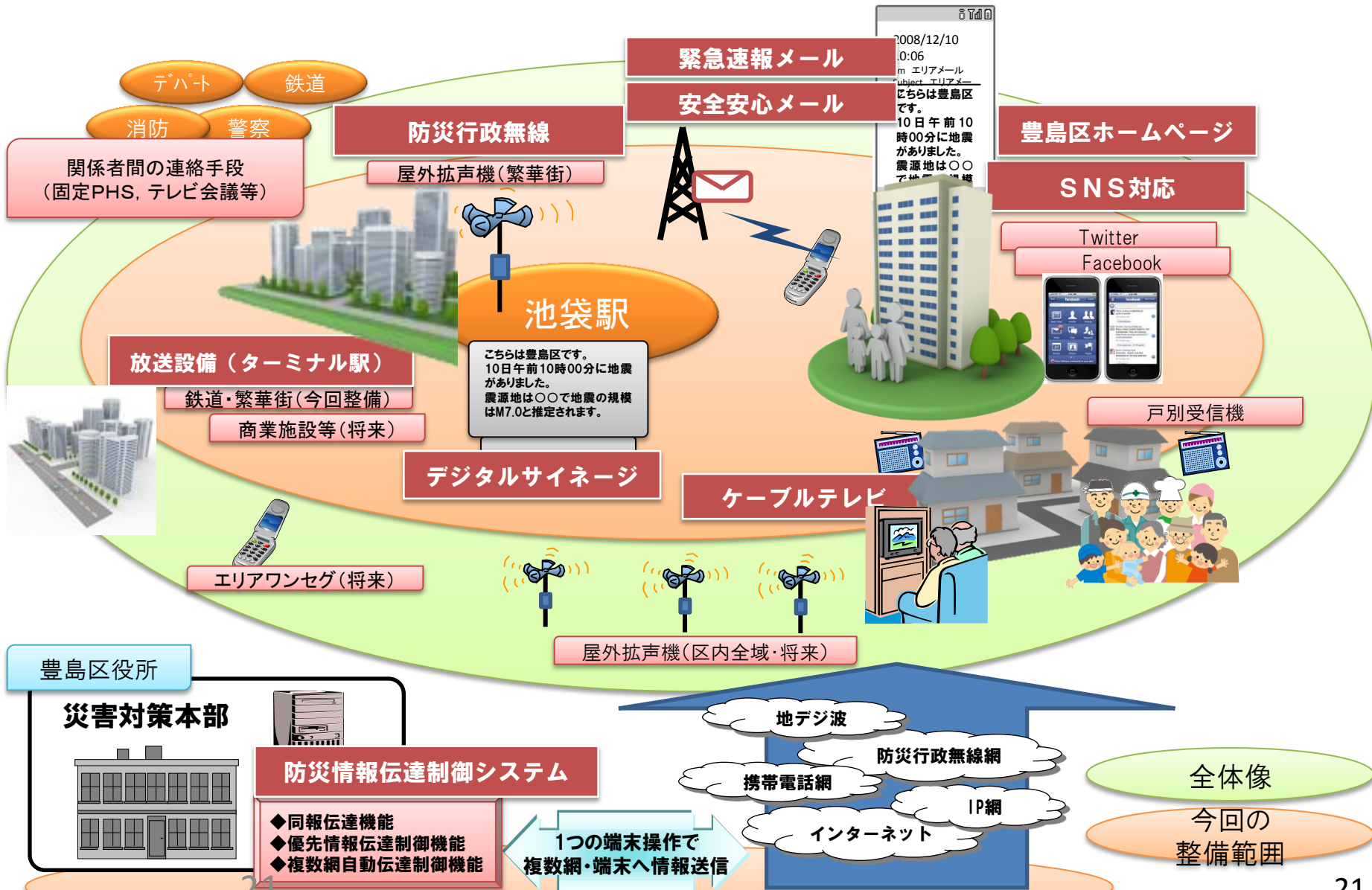
デジタルサイネージ など

モジュール

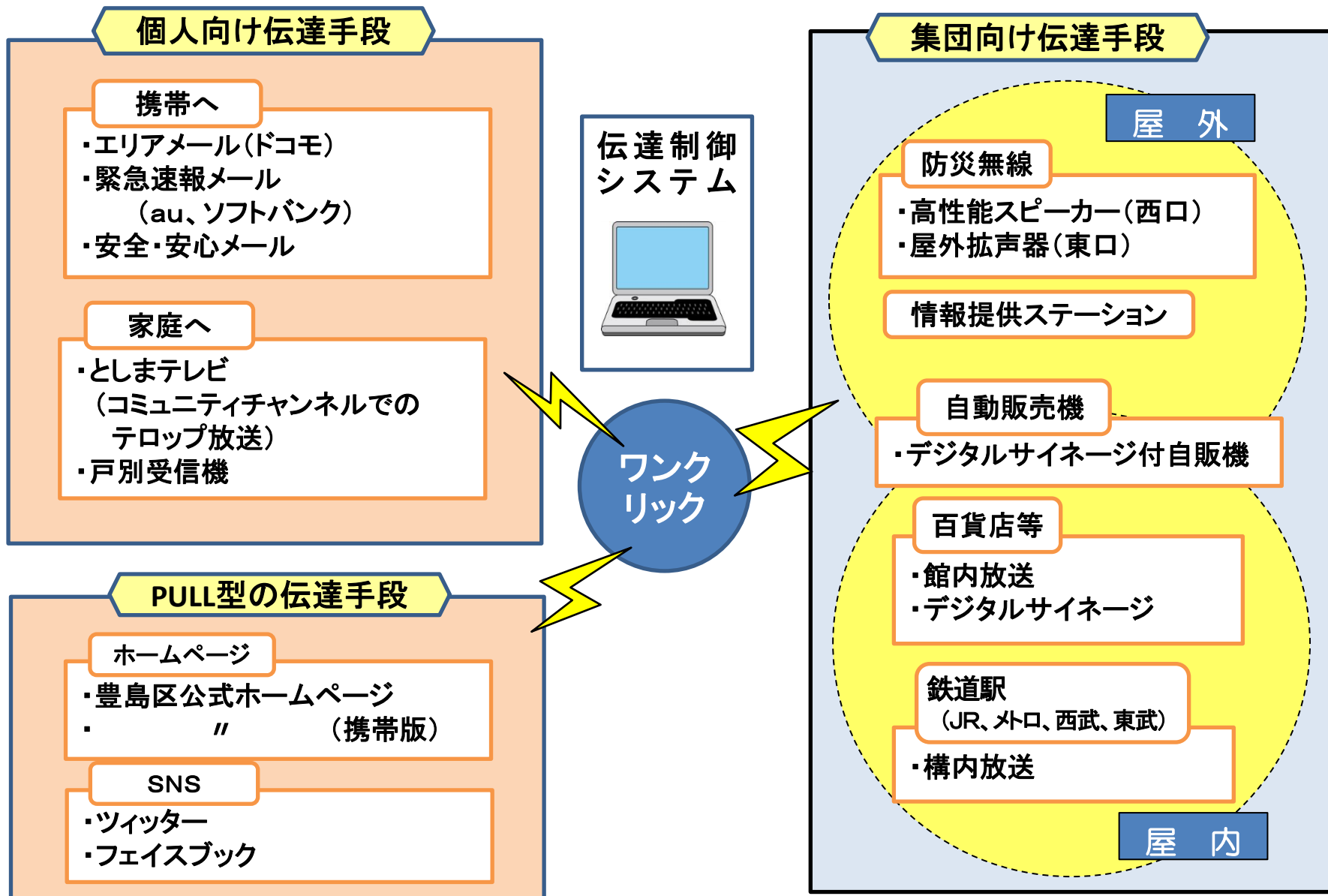
(参考)

拡張時のコスト最小化

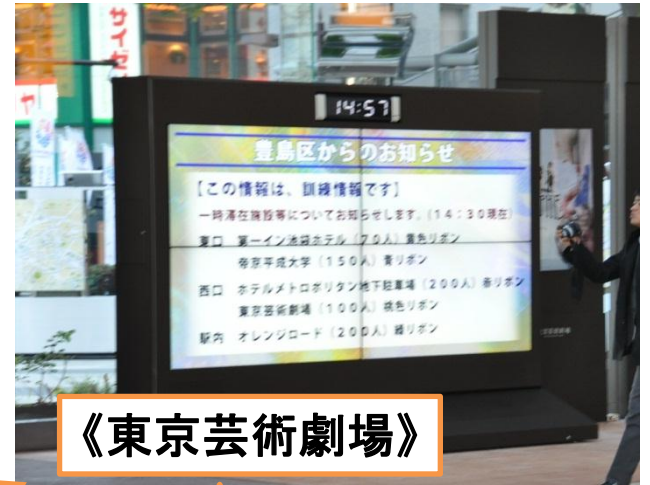
●伝達制御システムによる情報伝達イメージ



総務省消防庁「住民への災害情報伝達手段の多様化実証実験」 (平成24年11月20日 池袋駅帰宅困難者対策訓練)



実験の様子



情報提供ステーション



緊急速報メール

《東京芸術劇場》

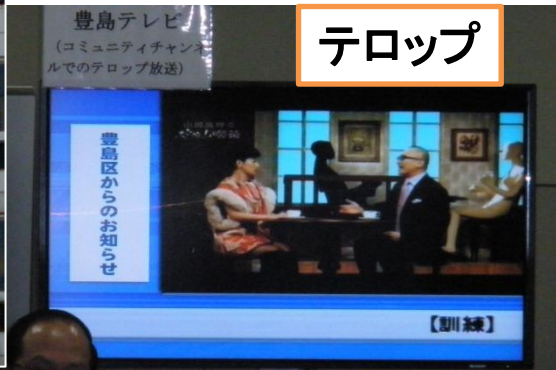
複数媒体 で同時に 情報提供

デジタルサイネージ

防災無線 屋外スピーカー



テロップ



《自販機型》



●今後のシステム整備



新庁舎整備			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度～
新庁舎建設	建築、内装工事		移転、開庁
総合防災システム	詳細設計	調達	運用

総合防災システム

情報収集

- ・関係者、関係機関との連絡手段確保
- ・カメラ等によるリアルタイム映像

整理・分析

- ・GISによる映像・データの可視化
- ・ITの活用による自動集計

情報発信

- ・発信用コンテンツの作成（画像・データ）
- ・防災情報伝達制御システムの活用